

市報 やまぐち

昭和56年

5月1日

No.811

人の動き

(4月1日現在)

人口	111,945	(-793)
男	53,471	(-544)
女	58,474	(-249)
世帯数	37,908	(-597)

()内は前月との比較

発行 山口市役所
編集 企画部広報課
印刷 (株)丸二商行



深めたふれあい

なごやかなムードで

障害者 スポーツ・
レクリエーション 大会

4月19日、県身体障害者福祉センターで、心身障害者と一般市民がレクリエーションを通じてふれあいを深めようと、「障害者スポーツ・レクリエーション大会」が開かれました。

この日は、あいにくの雨で、会場は白石小学校の運動場から同センターの体育館に変更されましたが、目や耳の不自由な人たち約300人と、200人余りの一般市民やボランティアなどがつめかけました。

趣向をこらしたプログラムも、室内のため、レクリエーション種目だけとなりましたが、会場は終始なごやかなふん団気に包まれていました。



瑠璃光寺五重の塔の1/15の模型

開館式は四月十五日午前十時
所開きを行い、資料の保存のための環境整備や資料収集に約一年間費やし、その間市民のみなさんからは、生活用具、農業機具、商家の看板、大福帳簿など約八百点のほか、古文書や本などを加えると約千六百点にものばる民俗資料の寄贈がありました。

貴重な資料を集め
4月15日・華やかに開館

山口市歴史民俗資料館

資料館の総事業費
約3億円

県立博物館や県埋蔵文化財センターが立ち並ぶ春日町に、市制五十周年記念事業として建設した市歴史民俗資料館が、四月十五日オープンしました。同館では開館を記念して、市内各所に所蔵されている文化財を特別に公開した「山口二千年の歩み展」を五月末まで開催しています。

展示室のほか、館長室、管理室、工作室などがあり、二階には四十八平方㍍の学習室をはじめ、三つの収蔵庫を備えています。資料館は昨年四月二日に事務所開きを行い、資料の保存のための環境整備や資料収集に約一年間費やし、その間市民のみなさんからは、生活用具、農業機具、商家の看板、大福帳簿など約八百点のほか、古文書や本などを加えると約千六百点にものばる民俗資料の寄贈がありました。

から、堀市長をはじめ井上県教育長ら関係者約二百人が出席して行われました。

開館を記念して

「山口二千年の歩み」展

月曜日が休館日で、開館は午前九時から午後四時まで。
入場料は、高校生以上が二百円（团体百六十円）、小・中学生が百円（同六十円）です。



オープニングの日、多くの観覧者でにぎわう展示室

資料館の開館を記念して、五月底まで「山口二千年の歩み」展を開催しています。社会寺や県立博物館などから借り受けた国的重要文化財など百四点を展示しています。

月曜日が休館日で、開館は午前九時から午後四時まで。
新設した清掃事務所

くす玉が割れ、市民が待ち望んだ「市歴史民俗資料館」が華やかにオープン



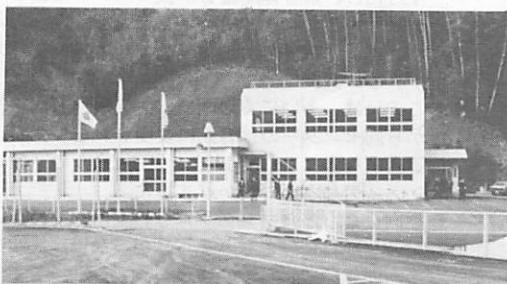
「山口二千年の歩み」展で幕開け

大内に新清掃事務所が完成

▼位置図



大内御堀の国道二六二号バイパス沿いに建設された、スマートな新清掃事務所



「山口二千年の歩み」展を開催しています。考古学界、民俗学界には貴重なものとして話題になった孟状穴（はいじょうけつ）石棺（同館蔵）をはじめ、八世紀の中国唐代のもので、大内氏の祖琳聖太子が招来したものと伝えられる国指定の重要な文化財「十一面觀音立像」（神福寺蔵）などを展示しています。

大内御堀に建設を進めていた清掃事務所の庁舎が完成しました。新しい清掃事務所は国道二六二号バイパス沿いで、清掃工場（焼却場）からは約五百㍍東にあり、バイパスが完成する

と、宮野からは至近距離になります。なお、し尿処理部門はこれまで、電話は二七一一七七〇番です。でどおり、富田原町二一二二にあります。

総事業費は、用地費が一億七千九百余万円、建築費が二億六千四百万円、敷地面積約二万六千平方㍍に、鉄骨鉄筋コンクリート一部二階建て、八百八十六平方㍍の管理棟をはじめ、機械室が三十平方㍍、鉄骨スレート葺の車庫が六百三十二平方㍍などがあります。

そのほか、職員の福利厚生施設としてスポーツ広場（テニスコート二面、ソフトボール場一

面）が併設しており、このスポーツ広場は地元にも開放します。

(3)

5月6日～6月5日

交通事故

昨年は574件発生

トッピは追突事故



あとを断たない交通事故。こうした悲惨な事故を二度と起さないように気をつけましょう

考え方をして車を運転したり、歩いたりしていると、ハッとすることがあります。

交通事故はお互いの不注意からくるもので、一人ひとりが交

通安全を自覚し注意すれば、事故は防げるものです。

今年も痛ましい交通事故をなくそうと、四月六日から十五日まで「春の交通安全健民運動」

春季清掃月間

空きかんは持ち帰ろう

水溝、下水溝の溝さらえを地区や町内単位で実施しましょう。

五月六日から六月五日までは「春季清掃月間」です。

各家庭で日ごろ掃除がいきとどかない押入れ、物置、台所などをよく整理整頓し、カヤハエ、ゴキブリなどの住み家としないようにしましょう。



行楽シーズンを迎え、家族やグループで行楽地に出かけることが多くなります。

ごみや空きびん、空きかんなどは必ず「自分たちの責任」で処理するよう心がけ、省資源、省エネにも努めましょう。

「ごみ持ち帰り運動」の輪を広げましょう。

不燃物の収集日に、まとめて出された、空きびんや空きかんを導入し各出張所は電送装置で結んでいたため、受付け窓口での待ち時間が大いに短縮されたほか、戸籍謄抄本や住民票、印鑑証明などは、市民課はもちらんどの出張所からでも申し込み、とることができます。

窓口は転勤時期の三月下旬から四月上旬、平日では午前九時から十二時の間は混雑することがありますが、待ち合室にはテレビや雑誌類が置

が展開され、この期間中には、市交通安全対策協議会の総会も開かれました。

そこで、その資料をもとに、交通事故について一度考えてみることにしましょう。

交通事故は夏と秋に多い交通事故の発生件数を季節別にみると、七月・八月の夏休み期間中と、十月の秋の行楽シーズンに多発する傾向がみられます。

夏は暑さによるドライバーの気のゆるみと、秋にはマイカーを運転して遠出する機会が多いための事故多発が考えられ、またこれに比例して死傷者数も増えています。

違反の状況をみると、車両では交差点での信号無視、徐行違反が目立つか、酒酔い（酒気帯び）運転が昭和五十四年に比べ増加しているという嘆かわしい結果がでています。

歩行者は、車の直前・直後の横

断による違反が増えています。

車両相互の事故が過半数

交通事故を類型別みると、わき見運転や車両距離をとらないための追突事故が全体の二五割、出合頭の衝突事故などを含むと、車両相互のものが過半数の五八割を占めています。

このほか、自転車対車両の事故が一四割あります。

また、道路別の事故状況では、国道、市道では減少し、県道で増加する傾向がみられます。

交通安全対策の推進

いつまでたっても減らない交通事故。しかし、わたしたちは手をこまねいて見ているわけにはいきません。市民一人ひとりが、交通安全意識を高め、正しい交通ルールとマナーの向上に一層の努力が必要です。市ではこれからも交通安全教育の徹底と、交通安全施設の整備に力を入れてていきます。

関係のカードを収納している部屋が狭く、住民票や戸籍印鑑の登録などを取り扱っています。

この電話を利用して申し込むと市民課はもちろん、指定された出張所へも電送しますので、待たずしに書類を受け取ることができます。

おじやましまーす
市民生活部 市民課の巻

市庁舎の正面玄関を入り、左に進むと市民課の受付け窓口があります。

この市民課は市民生活部に属し、転入、転出、出生、死亡、婚姻の届け出をはじめ、印鑑の登録などを取り扱っています。

また、市民課では着信専用電話二四一七七七七の利用をお勧めしています。

この電話を利用して申し込むと市民課はもちろん、指定された出張所へも電送しますので、待たずしに書類を受け取ることができます。



『正確に、早く、親切に』をモットーに市民に接する市民課の職員

♪ 育てよう野鳥の歌う村やまち ♪

野鳥と親しもう

5月10から 「愛鳥週間」



野山はまさに緑あふれる好季節。森では小鳥たちが春を歌い、川原や海岸の干潟では旅鳥のシギたちが、渡りの途中の疲れで休めています。小鳥たちは、害虫を食べて森林や農作物を保護し、人類に大きな利益を与えてくれるだけではなく、その可憐な姿、美しい鳴き声が、私たちの心を和らげ、健康を保つために役立っています。毎年公害が広がり、自然が破壊されてい

く姿を見るのは非常に残念なことです。この公害に敏感な野鳥を保護し、多くの鳥類が生き生きできるような環境を作ることが、そのため私たちの安全な生活環境を作ることになります。これらの野鳥と親しむにはどうしたらよいのか、五月十日からの「愛鳥週間」にちなんで、日本野鳥の会山口県支部の岩井清陸さん（住所は山口市大字平井六五一三）にお話を聞いてもらいました。

わがまちは野鳥の楽園

緑をふやし実のなる木

植えよう

野山の鳥たちは、水辺に住む鳥を除けば大抵樹木の多いところで生活し、樹の上に巣を作りヒナを育てます。

野鳥をふやすには、こうした住み家と緑をふやすことが大切です。また、樹木の種子、果実などは小鳥を呼ぶための大切なもののがひとつです。

野鳥は森林や並木などに実っている果実には本能的に警戒心を見せず、特に好みのエサであればそこに滞在してエサを食べ続けます。これらの実のなる木は食餌植物と呼ばれていますが、庭や公園に小鳥たちを呼び寄せるにはこの食餌植物を植えることが一番良いようです。

庭に給餌台を作ろう

◆ 市内観察で身近に野鳥がころ ◆

場所	時期	野鳥の種類
矢原河川公園～平川河川公園一帯	11月～4月	マガモ、カモ、カワセミ、カイツブリなどの冬鳥。
亀山公園～春日山一帯	1年中	シジューガラ、コゲラなどの林を好む鳥、春先はウグイスの声。冬はヒヨドリ、メジロなど。
秋穂二島幸崎干拓の干潟	4月～6月(春)8月～10月(秋)	ハマシギ、キアシギなどのシギ類。シロチドリ、コアジサシなど。
名田島昭和関作沖の櫻野川河口	11月～3月	マガモ、ヒドリガモなどのカモ類。ユリカモメなど。
常栄寺、初瀬公園一帯	4月～6月	ヒヨドリ、メジロ、コゲラなど。特に6月初旬にはホトトギスの声もきかれる。
明治維新記念公園	11月～5月(冬～春)	ヒヨドリ、ムクドリ、キジバトなど町中で身近に見られる鳥。

その姿を見て楽しむ人が増えています。

その姿を見て楽しむ人が増えています。



出合い

人生は何事によらず、ますます因縁を感じます。

考えて見ると、本当に奇しかった出来事から始まります。

出合いを大切にするかしないかで、その人の生涯は大きくなります。

謙虚な気持で求めるかどうかです。新しい物の見方、考え方、広い知識、交際を求めて出合いを大切にしましょう。

軽く變るかも知れません。だから何事によらず、お互いの日々の暮らしの出合いを大切にしたいと思います。求める心さえあれば、身の回りの隣人の中にさえ、心の琴線に触れる人は必ずいるのです。ほんの一瞬の触れ合いの中にさえ、心機一転のチャンスはあるはずです。ただ

施設 緑がいっぱい 県林業センター



山口県林業センターは、市街地から国道九号線を約五キロ北上した、宮野仁保地にあります。

ここでは、林業に関する試験研究や新しく開発した技術の普及指導にあたるほか、生活の中に緑をとり入れた環境づくりの普及啓もうに努めています。

四翁の広大な敷地内には、ツツジや造園樹、生垣、ミニ庭園など、六種類の見本園がつくれられ、児童の教材や市民のいいいの場になっています。

本館棟は鉄筋コンクリート二階建てで、昭和五十一年九月に完成したばかり、昨年二月

には約四千万円かけて床面積二百四十平方㍍の展示館が完成しています。展示館には、クミドリを育て、住みよい環境、豊かな生活をテーマに「森は生きている」「森林を育てる」など六項目のコーナーを設け、パネルや写真、標本などを展示しています。

▲職員の声▽
敷地内では小鳥がさえずり、花がいっぱいです。お気

。エサを欠かさないこと。

。エサを与える場所を移さない
こと。
この方法は、主に秋から春先
までが効果的です。

巣箱をかけよう

今ごろの季節に巣箱をかけますが、これを利用する野鳥はシ



林に住みつく鳥ではから巣を作る場所の少なくなった現状では、繁殖を助けるのに役立ちます。

このように野鳥と親しみを増すいろいろな方法が考えられますが、最も大切なことは「野鳥を驚かさず、そつとして置いてやること」です。

市内でも、平川河川公園一帯の櫻野川では、冬に見られる野鳥のカモが人になれてきて、十数羽近づいても少し逃げるだけで、余り警戒する気配を見せません。

数年前、この一帯が銃猟禁止区域になり、カモを驚かす人が少なくなつたために、カモもこちら一帯が安全であること、人がが危害を加えないことがわかつてきましたようで、年毎になれてきて、現在のようにのんびりとして、た有様が見られるようになつてきました。



『野鳥の楽園』 槙野川で群れ遊ぶ
カモメたち

「野鳥の森」の整備計画

明治維新にまつわる遺跡が散在する、市の北部から旭村にまでがる広大な森林地帯を、憩いの場として整備する「三十一世紀の森」（対象面積約七千六百ヘクタール、事業費約三十億円）の造成計画が進められています。

の要所に花や蜜をつけるヤツツバキ、実がなるヤマガキなど、野鳥のエサになる食餌木を植えて、野鳥が好んで集まる環境づくりが進められます。

「野鳥の森」として整備する面積は一・五ha。今年度中に整備を完成する予定で事業が進みます。

めの金子さん 拶しました。
今年度の新入生は、近藤さん
を含めて七人でした。

昭和四十三年に、市社会教
育課が募集した婦人学級の歴
史講座を受講した生徒が集ま
り、「歴史と文化財をもつと勉
強しよう」とみんなに呼びかけ
て「鴻の峯学級」が誕生しま
した。

年度初めに学級生をクジ引

転勤で山口に来た人が「山口をよく知りたいと「中央公民館利用団体一覧表」を見て入会の申し込みがありますが、学級の定員をきめているために、欠員がなければ入会できない有様です。申し込んで二年経つて初めて入会できました人もあります。

昨年度は女性史や東洋美術史などを勉強し、年一回の県

ぐ う る ぶ

鴻の峯学級

「三月の終了会は落第式です。会員相互の親ばくを深め、この会を長続きさせたいのです」。今年度の会長田中初枝さん（大殿大路一一七）はこう抱負を語りました。

外「酒旅行」、「高野山」と「紀州の旅」を実施しました。

きで八班に分け、月一回の例会は当番の班をきめて、開催通知から会費の徴収などみんなで分担し合っています。

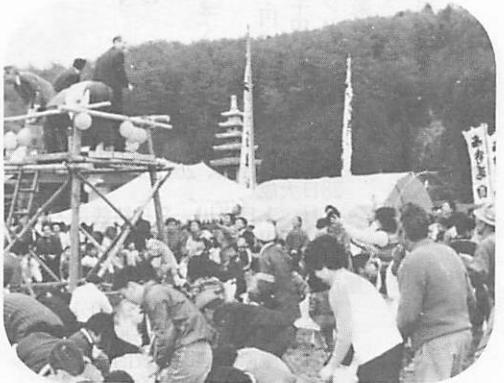
(7)



△好プレーに惜しみない拍手

バレーボールを通じて健康と体力づくりに努めようと、4月12日、川西中学校・佐山小学校の屋内運動場で第2回南部地区ママさんバレーボール大会が開かれました。

白熱した好試合のもと、好プレーには惜しみない拍手も送られ、6チームともそれぞれ日ごろの成果を発揮していました。



△安全運転はお地蔵様に

春の交通安全健民運動期間中の四月十四日、仁保の県道でちらし、お菓子などをくばり、安全運転を呼びかけました。この県道横には、土井・高松両地区民の善意で「交通安全地蔵」が建てられており、この日は第六長寿会の老人クラブのみなさんが供養しました。

△にぎわった足王様

四月一日、足の病気にご利益があるといわれる宮野中恋路の「足王神社」で例祭が行われました。当日は、神事に引き続き、モチまきも行われ、地区の老若男女約四百五十人がモチまきを楽しみ、健脚を祈願しました。



△春の宮野展開かれる

四月四日・五日の両日第十二回宮野展が宮野公民館で開かれました。書道や手芸などの展示や朝市などに多くの地区民が集まりました。



△横断旗 830本 贈呈

新学期前の4月2日、山口信用金庫から市へ交通安全用横断旗830本の贈呈がありました。

市では、この横断旗を旧市内各出張所の安全協会地区支部などに配付し、新学期からの児童・生徒たちの登・下校の安全横断に役立てることにしました。



同和問題を考える



同和問題を考える

は言われないだろうと安心する……。ところが、やっぱり同じように「とんちゃんや」とからかわれても、母親にお

親の同和教育

— PTA同和からのたより (2) —

店をやめてとは言えずじつは耐えている女の子。そのうち、店を建てさせてくれいにしたので、もうこれであなたの気持ちは、この子の心の傷をいやせるでしょうか。

生きしていくために一生懸命働いていることをあだなししてはやしたてることは絶対に許せないと言っている女の子の言葉を待つまでもなく、絶対にあつてはならないことだと思います。

あだなを言われた人の心の痛みがわかる人にならねば、しみじみ考えさせられたPTA研修の一日本でした。

先日、近所の方が、人に言わされたことでのい分いやな思いをされた話を聞き、それ以来、私も毎日の生活の中で不注意に人を傷つけているのではないかと気になっていました。そんなある日、同和教育資料「なかよし」を使って行なわれた小学校の授業を参観して、いろいろ考えさせられることがありました。

『あだなはいやだ』という資料を使った三年生の授業でした。焼肉屋を経営しながら女手ひとつでがんばっている母親の姿に、友だちから「とんとんとんちゃんや」とからかわれても、母親にお母の気持ちを考える。いじらしさに、お互いにいたわりあつて、親と子の暖かさを感じました。女の子も、「母は私をほげますために、わざと明るい顔をしていのではなかろうか。」と母の気持ちを考える。平気な顔で答えている母親の姿を、複雑な気持ちで考えました。女によると、母は私をほげますために、わざと明るい顔をしていのではなかろうか。」と母の気持ちを考える。平気な顔で答えている母親の姿を、複雑な気持ちで考えました。女によると、母は私を見ていじつとこらえている女の子の気持ちを考えると、思わず目がしらが熱くなるような気持ちになりました。

いで家にかけこむ女の子。もし、私の子だったら、私は一体何と声をかけてやればよいのでしょうか。

一生懸命働いている母の姿を見て、じつとこらえている女の子の気持ちを考えると、思わず目がしらが熱くなるような気持ちになりました。

1歳6か月児健康診査

- 日時 5月27日(水) 受付時間午後1時から2時まで
- 場所 市役所内市民ホール
- 対象児 昭和54年11月1日から11月30日までに生まれた北部地区の幼児
- 料金は無料。受診者は母子手帳を持参してください。
- なお、南部地区的幼児は、7月28日午後1時から陶隣保館で行う予定です。

■文学セミナー受講生募集

- 太宰治や志賀直哉などを山口大、山口女子大の先生や専門家を講師に、6月10日から来年の1月まで、毎月第2水曜日に8回開く。時間は毎回午前10時から正午まで。
- 主催 県学者文化人連合山口支部
 - 会場 市中央公民館
 - 会費 全期2,000円(1回毎では500円)
 - 申し込みはがきに住所、氏名、電話番号を書いて、5月30日までに、梅田俊章さん(泉町3-14@23-1452)へ

■国家公務員上級職員募集

- 各省庁の上級係員または上級研究員として事務または研究などの業務に従事する。
- 職種 甲種は行政、建築、畜産など29種乙種は法律、経済、図書館学、土木
 - 資格 昭和23年4月2日(乙種は27年4月2日)から35年4月1日までに生まれた人
 - 受付期間 5月6日から13日まで
 - 試験日 1次7月5日 2次8月4日
 - 問い合わせ 人事院中国事務局(〒730広島市中区上八丁堀6-30)へ

市親子体操教室受講生募集

- 期間 6月1日から来年2月まで、原則として毎週月曜日
- 時間 午後2時30分から4時まで
- 会場 県体育館
- 対象 3歳から6歳までの幼児(小学生を除く)とその母親で、初心者を歓迎
- 主な内容 ゲーム、親子体操、なわとび、とび箱・マット・ボール運動
- 募集人員・受講料 50組・1組1,000円
- 募集方法 5月18日午後3時に市役所第1会議室に集合のうえ決定する。
- 問い合わせ 市教育委員会体育課(亀山町2-1@4111)へ

■山口青色学校受講生募集

- 日時 5月11日から13日までの3日間、時間は午後1時30分から4時まで
- 場所 山口商工会議所会議室
- 講師 長富保理士
- 人員・受講料 20人・2,000円
- 申し込み 5月9日までに受講料を添えて山口商工会議所(中央四丁目5-16電25-2300)へ

希望者は、市観光協会または市内の郵便切手売りさばき所で購入ください。
市観光協会、湯田温泉旅館協同組合、山口郵趣会では、「西の京やまぐち」と題した第四集の絵入り官製はがきを発行しています。価格は一組(五枚入り)二百五十円です。

官製はがきを発売
絵入り

お知らせ



「雄大でなおかつ繊細な豊かな音の世界」と激賞されるレニングラード・フィルハーモニー交響楽団が来山します。幻想的序曲「ロメオとジュリエット」などの名曲が聴けます。

- 日時 6月十九日(金) 午後6時30分開演
- 場所 市民会館大ホール

- 主催 市教育委員会、やまぐち市民文化の会
- 入場料 S八千円、A七千円、B六千円、C五千円、D四千円
- 入場券のお求めは、グランドミック三好屋、山口十字堂樂器店、OK無線、市民会館で。また、問い合わせや予約は市民会館(〒731-1000)へ

レニングラード・フィル来山

六月十九日に公演

市民会館開館十周年記念特別演奏会に

不燃物の収集日

- | 出張所 | 地区 |
|-----|--|
| 5月 | 12日大内、14日平川、21日小鶴、22日吉敷、26日仁保、27日宮野28日大歳 |
| 6月 | 1日嘉川、2日鎧銭司・陶、3日佐山、4日秋穂二島・名田島、11日大内、15日平川 |

■市民講演会

- 日時 5月8日午後6時30分から
- 会場 市民会館大ホール
- 講師 藤原弘達氏(政治評論家)
- テーマ 「'81政治経済を斬る」
- 対象・入場料・一般・無料
- 主催 山口商工会議所青年部

■危険物取扱者試験

- 試験日 6月17日(水)
- 願書提出期限 5月22日(金)まで
- 問い合わせ 市消防本部予防課危険物係(〒731-1470)へ

2級建築士試験

- 受験願書受付 5月11日~15日
- 学科試験日・会場 7月25日(土)・山口大学教養部
- 設計製図試験日・会場 9月20日・山口農業高校
- 受験申込書の請求先 県土木事務所
- 受験申込書の受付 県建築士協会(大手町3-8県立博物館前)
- 問い合わせ 県建築課指導係(瀧町1-1@22-3111)へ

県立山口図書館 月間資料展示

「郷土の児童文学者」

- 郷土の児童文学者として、山口県に深く係わりのあった人々を紹介し、その作品や作家歴など85点の資料を展示
- 期間 5月1日~30日
 - 場所 県立山口図書館

5月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系	
	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話	病院名	電話
3	吉永 外科	山口@3263	国近 内科	山口@0822	村田 外科	小郡@7100	浜池 医院	小郡@0616
4	鴻城 病院	山口@0166	内小兒科	山口@0009	同小兒科	阿知須@2130	藤村 医院	二島 2510
5	坂本整形外科	山口@5566	小神 德伯	山口@3780	同整形外科	小郡@2887	小郡@21002	嘉川 2353
10	山口 病院	山口@1191	佐ササキ	山口@1490	第三小吉	小郡@1003	小郡@0411	秋穂 2130
17	淵上整形外科	山口@6644	清水	山口@3237	第一林武	小郡@0333	小郡@0333	内田 有新
24	村田整形外科	山口@5765	内科	山口@0732	第二小吉	小郡@1515	小郡@0916	阿知須 4749
31	村 外科	山口@7527	科	山口@2288	第三小吉	2330	小郡@2325	秋穂 2705

休日当番医診療時間
8時30分~17時30分

日曜、祝日の夜間は、休日夜間急患診療所(熊野町、県薬剤師会館内)電話@2266)へ、19時~23時

日曜、祝日の歯科は県口腔センター(吉敷下東、県歯科医師会館内)電話@1820)へ、9時~15時